

島根県の経済動向

令和4年7月分

統 第 6 9 号 の 8
令和4年10月14日

政策企画局統計調査課

ー島根県の経済は、緩やかながら持ち直しの動きがみられるー

生産活動は総じて持ち直しの動きがみられる。雇用面は改善の動きが続き、所得面は弱い動きが続いている。個人消費は一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの動きがみられる。投資動向は持ち直しの動きがみられる。

生産活動	⇒	～総じて持ち直しの動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は94.4で前月比3.4%上昇し、前年比は▲7.2%と7か月連続で下回った。 生産活動は、総じて持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	⇒	～改善の動きの一方で一部に弱い動き～	雇用面は、有効求人倍率は1.78倍で前月を0.02ポイント上回った。新規求人数は10.3%と12か月連続で前年を上回った。所得面は、現金給与総額は▲5.3%と2か月ぶりに前年を下回った。きまって支給する給与は0.6%と7か月ぶりに前年を上回った。 雇用面は改善の動きが続き、所得面は弱い動きが続いている。
個人消費	⇒	～一部に弱い動きながら持ち直しの動き～	商業6業態販売額は3か月ぶりに前年を下回ったが、各種特需のあった前年から▲0.8%減にとどまった。新車登録台数は▲2.5%と11か月連続で前年を下回っているが、4か月ぶりに2千台水準を回復した。 個人消費は、一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの動きがみられる。
投資動向	⇒	～持ち直しの動き～	建築着工床面積（非居住用）は▲50.0%と2か月ぶりに前年を下回った。公共工事請負金額は16.4%と2か月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数は1.8%と2か月連続で前年を上回った。 投資動向は、持ち直しの動きがみられる。
企業倒産		～倒産件数3件～	企業倒産件数は3件。
金融情勢		～貸出金残高は対前年1.6%増～	銀行預金残高は、68か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は、143か月連続で前年を上回った。
物 価		～対前年2.4%上昇～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は102.4となり、前年比2.4%の上昇となった。
その他（参考）		島根県景気動向指数（CI） （令和4年10月14日公表） 法人企業景気予測調査結果 （令和4年9月13日公表）	CI先行指数は108.3となり、2か月ぶりの下降となった。 CI一致指数は79.8となり、2か月ぶりの下降となった。 財務省松江財務事務所が公表した現状（令和4年7～9月期）の景況判断BSIは、▲10.4%ポイントと「下降」超幅が拡大している。 令和4年度の設備投資計画は、前年度比48.1%の増加見込みとなっている。（製造業66.2%、非製造業17.4%）

経 済 指 標	前年同月比（%） ただし*は除く。						
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	96.3	92.9	91.4	86.4	91.3	94.4
	* "（前月比）	▲1.7	▲3.5	▲1.6	▲5.5	5.7	3.4
	* "（前年同月比）	▲5.1	▲9.5	▲14.0	▲14.0	▲11.8	▲7.2
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	1.65	1.65	1.68	1.76	1.76	1.78
	新規求人数	11.2	10.3	10.7	23.2	13.7	10.3
	常用労働者数	0.8	0.6	0.5	0.6	0.0	1.2
	現金給与総額	▲1.9	▲4.7	▲2.0	▲1.4	2.5	▲5.3
	きまって支給する給与	▲1.5	▲1.3	▲1.2	▲2.8	▲0.4	0.6
	所定外労働時間（製造業）	▲5.7	▲11.8	▲4.0	▲12.5	▲5.6	▲9.5
個人消費	商業6業態販売額	0.4	▲0.5	▲3.3	1.1	1.0	▲0.8
	うち百貨店・スーパー販売額	1.7	▲0.3	1.8	7.4	2.8	1.5
	うちドラッグストア販売額	2.7	4.2	2.0	2.0	3.9	6.6
	うちコンビニエンスストア販売額	▲4.7	▲6.4	▲15.7	▲4.5	▲4.2	▲6.5
	乗用車新車登録台数	▲13.5	▲20.5	▲21.3	▲17.1	▲9.0	▲2.5
	出雲空港利用者数	101.2	42.8	75.6	176.7	194.0	96.1
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	52.1	184.0	70.3	▲16.1	428.7	▲50.0
	公共工事請負金額	22.4	▲10.9	▲24.2	▲21.8	20.6	16.4
	新設住宅着工戸数	▲22.6	▲23.0	11.2	▲13.8	131.8	1.8
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	2	3	2	4	0	3
	* 負債総額（百万円）	154	109	660	295	0	715
金融情勢	銀行預金残高	4.5	2.4	3.1	2.0	1.6	1.6
	銀行貸出金残高	3.0	2.5	2.4	1.9	1.3	1.6
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	100.4	100.8	101.1	101.4	101.9	102.4
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	115.8	111.4	114.5	105.7	114.0	108.3
	* 景気動向指数（CI一致指数）	75.9	74.8	79.8	78.5	81.7	79.8

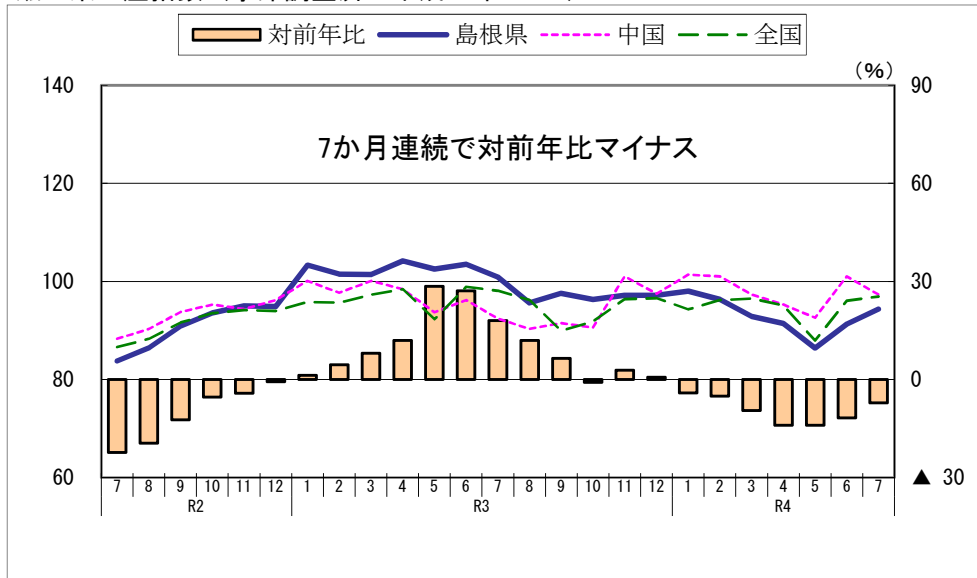
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	<p>「月例経済報告（内閣府）」令和4年9月30日</p> <p>景気は、緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。 ・ 設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。 ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。 ・ 企業収益は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している。 ・ 雇用情勢は、持ち直している。 ・ 消費者物価は、上昇している。 <p>先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。</p>
中 国 地 方	<p>「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 令和4年9月14日</p> <p>～ 緩やかな持ち直しの動きがみられる～</p> <p>中国地域の経済は、生産は緩やかな持ち直しの動きがみられる、個人消費は持ち直しの動きがみられる、雇用は有効求人倍率は前月に比べ上昇、新規求人数は前月比で減少など、全体として、緩やかな持ち直しの動きがみられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生産動向 …緩やかな持ち直しの動きがみられる 2. 個人消費 …持ち直しの動きがみられる 3. 雇 用 …有効求人倍率は前月に比べ上昇、新規求人数は前月比で減少 4. 景 況 感 …現状、先行きともに前月に比べ低下 5. 貿 易 …輸出、輸入ともに前年同月比で増加 6. 建設動向 …公共工事、住宅建設ともに前年同月比で増加 7. 企業倒産 …件数、負債総額ともに前年同月比で減少 8. 設備投資 …2022年度計画は前年度を上回る見込み
山 陰 地 方	<p>「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2022年10月3日</p> <p>山陰の景気は、持ち直しつつある。最終需要をみると、個人消費は、持ち直しの動きがみられている。住宅投資は、持ち直している。設備投資は、持ち直している。公共投資は、横ばい圏内で推移している。製造業の生産は、持ち直しつつある。この間、雇用・所得環境をみると、持ち直しの動きがみられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費は、持ち直しの動きがみられている。 ・ 住宅投資は、持ち直している。 ・ 設備投資は、持ち直している。 ・ 公共投資は、横ばい圏内で推移している。 ・ 生産は、持ち直しつつある。 ・ 雇用・所得環境をみると、持ち直しの動きがみられている。
	<p>「山陰経済動向（株式会社山陰合同銀行）」 2022年9月30日</p> <p>不透明な国際情勢や物価上昇などにより、投資活動や生産活動の一部に停滞感があるものの、個人消費に上向きの動きがみられるなど、総じて持ち直しの動きがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共投資は、横ばい圏の動きとなっている。 ・ 設備投資は、2022年度は製造業は前年度を下回り、非製造業は前年度を上回る計画となっており、全産業では前年度を上回る計画（企業動向調査9月の全産業設備投資額は、2021年度実績対前年度比12.2%増、2022年度計画同0.7%増）。 ・ 住宅建設は、横ばい圏の動きとなっている。 ・ 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。 ・ 生産は、部品や原材料の供給不足や価格上昇などによる影響が徐々に和らぐなかで持ち直しに向けた動きがうかがわれる。 ・ 雇用情勢は、総じて持ち直している。 ・ 企業の業況判断は、足元、製造業、非製造業ともに悪化し、全産業でも悪化となった（前回2.5→今回▲0.5）。先行きについても、製造業、非製造業ともに悪化を見込んでおり、全産業でも悪化の見通しとなっている（企業動向調査 9月調査）。
島 根 県	<p>「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」 令和4年7月27日（四半期ごとに公表）</p> <p>県内経済は、感染症や供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費 感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している ・ 生産活動 一部に弱い動きがみられ、足踏みの状況にある ・ 雇用情勢 感染症の影響が残るなか、持ち直している ・ 公共事業 前年度を下回る ・ 設備投資 4年度は前年度を上回る見込み ・ 企業収益 4年度は増益見込み

経済指標の推移

【生産活動】 ～総じて持ち直しの動き～

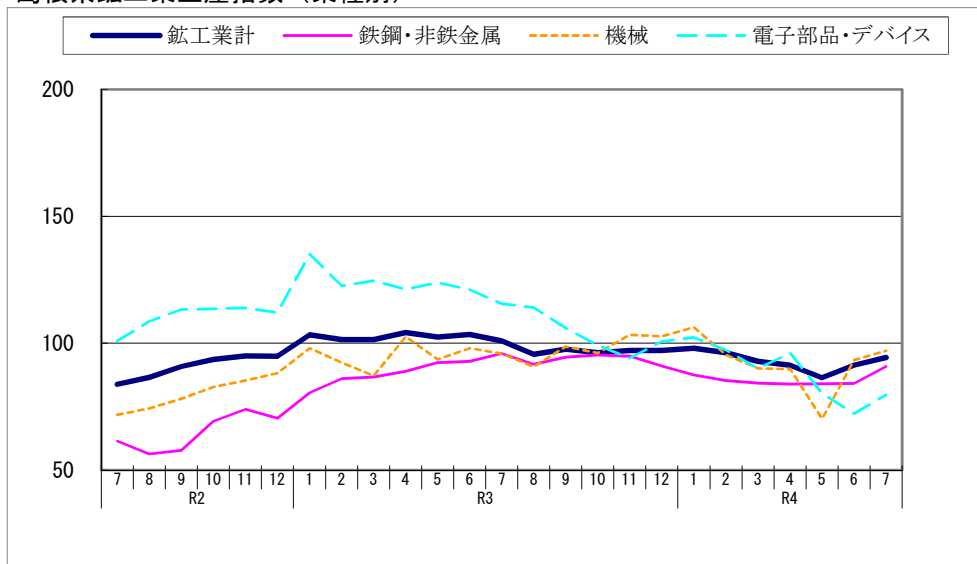
鉱工業生産指数（季節調整済 平成27年=100）



(注) 対前年比は、島根県の原指数

(県統計調査課、経済産業省)

島根県鉱工業生産指数（業種別）



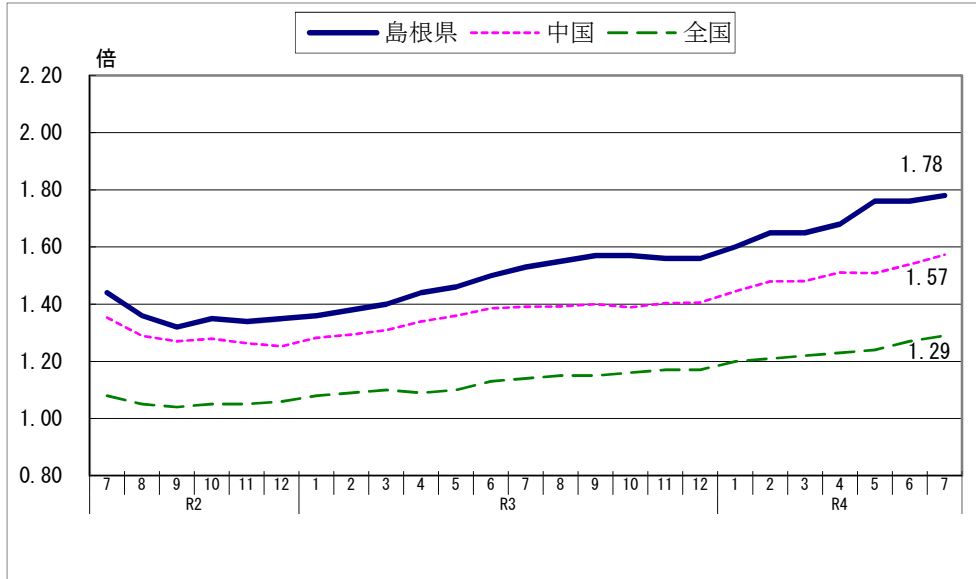
(注) 機械とは、汎用・生産用・業務用機械工業である

(県統計調査課)

【雇用情勢】

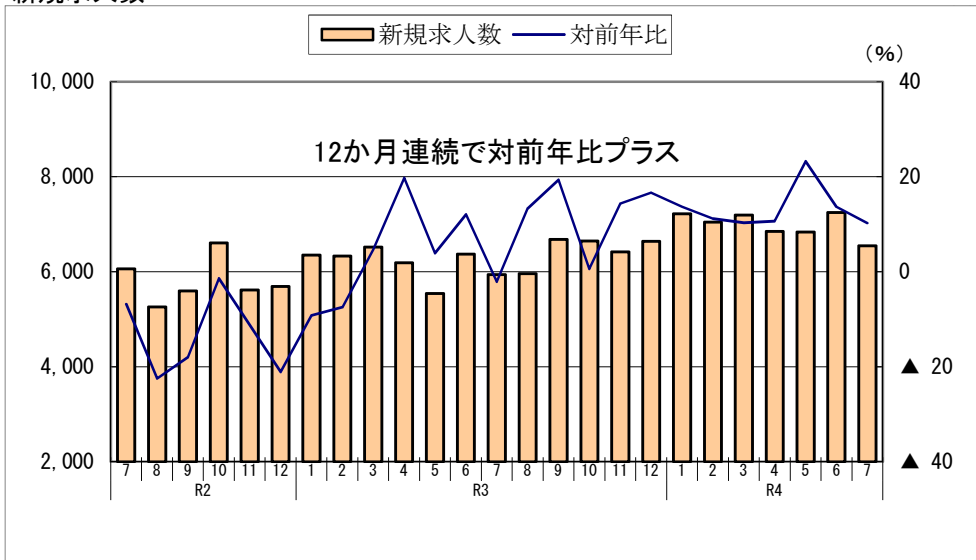
～改善の動きの一方で一部に弱い動き～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



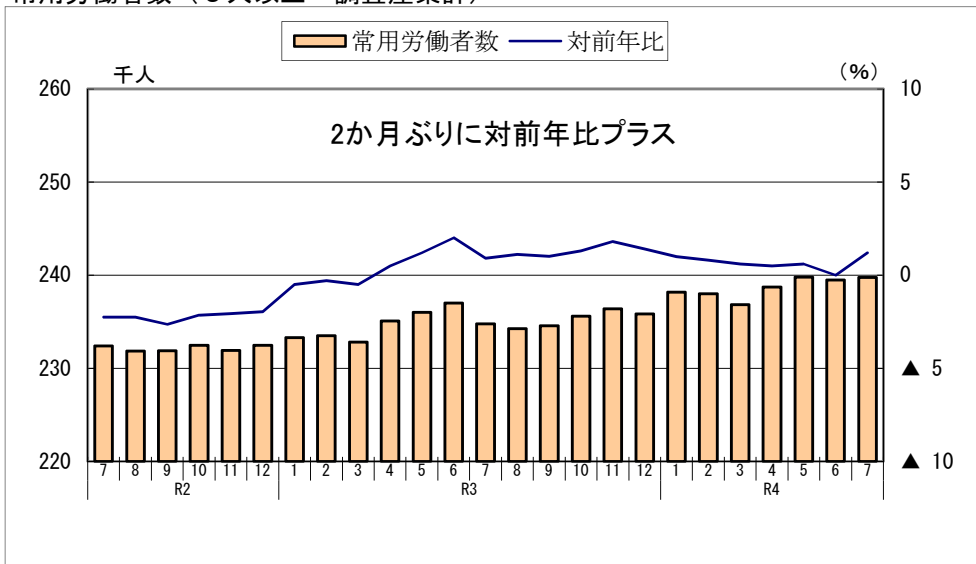
（厚生労働省）

新規求人数



（島根労働局）

常用労働者数（5人以上・調査産業計）

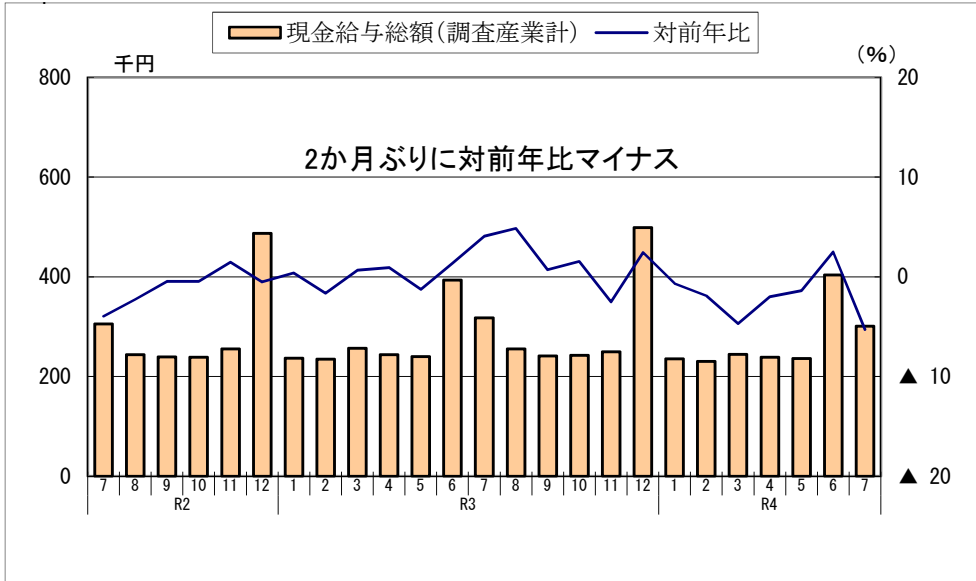


（県統計調査課）

【雇用情勢】

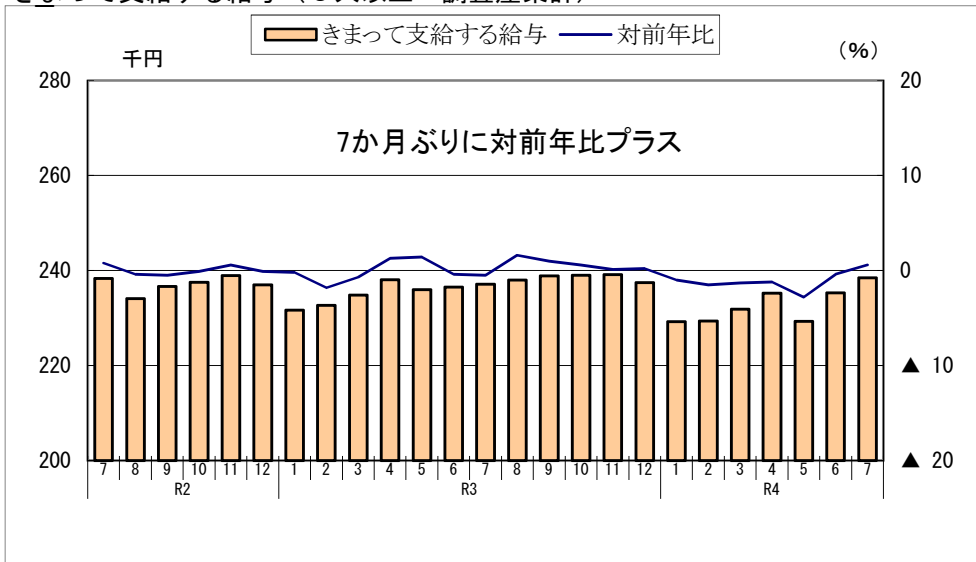
～改善の動きの一方で一部に弱い動き～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



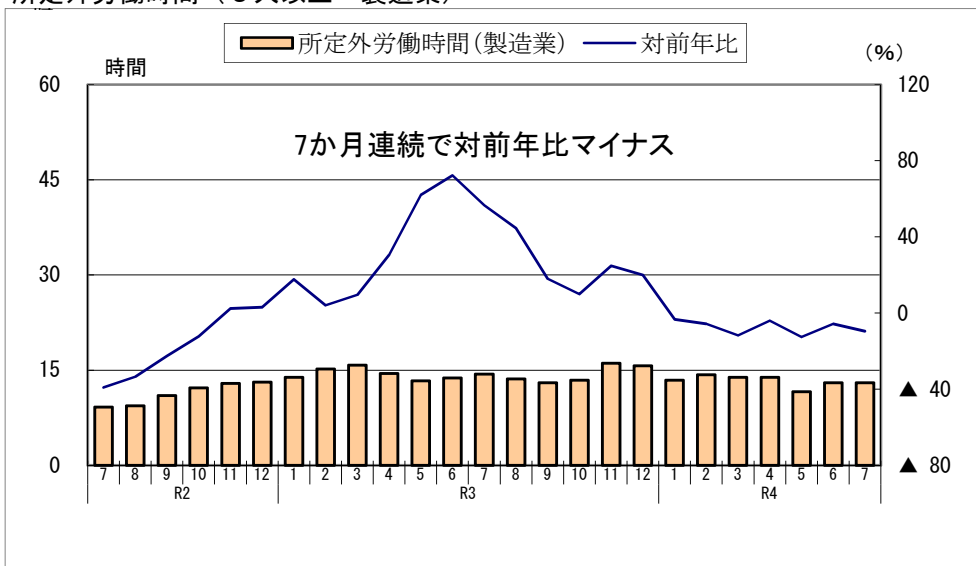
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

所定外労働時間（5人以上・製造業）

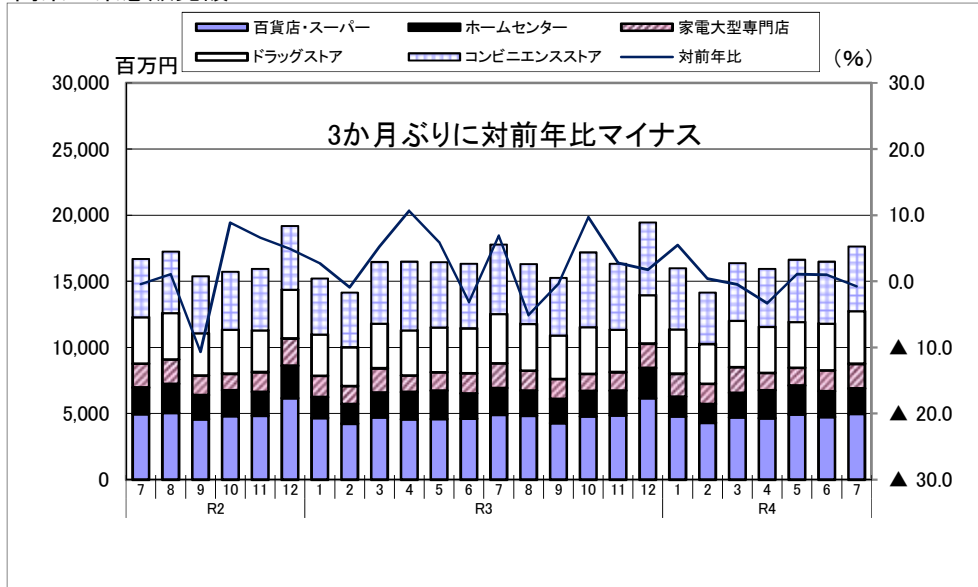


(県統計調査課)

【 個人消費 】

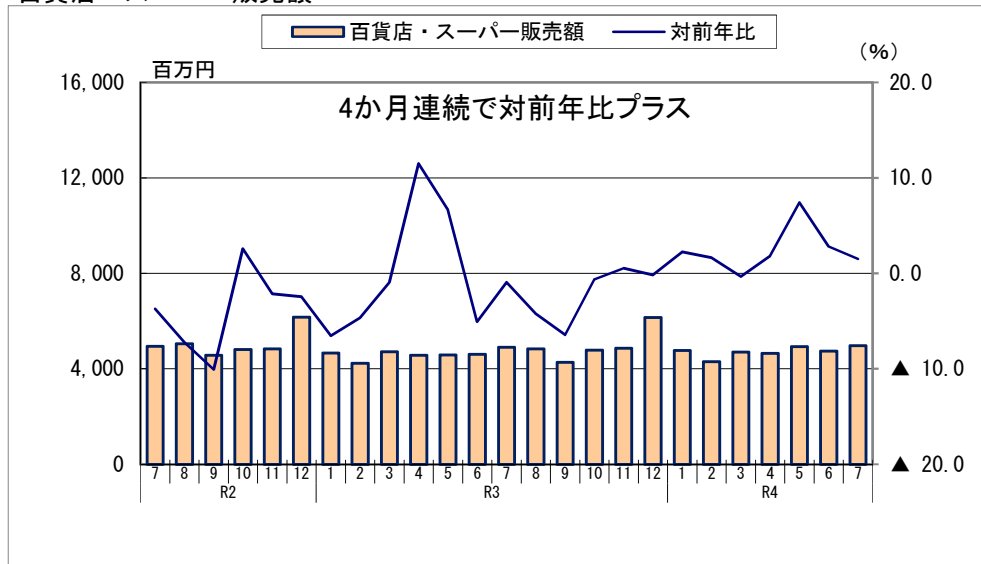
～一部に弱い動きながら持ち直しの動き～

商業 6 業態販売額



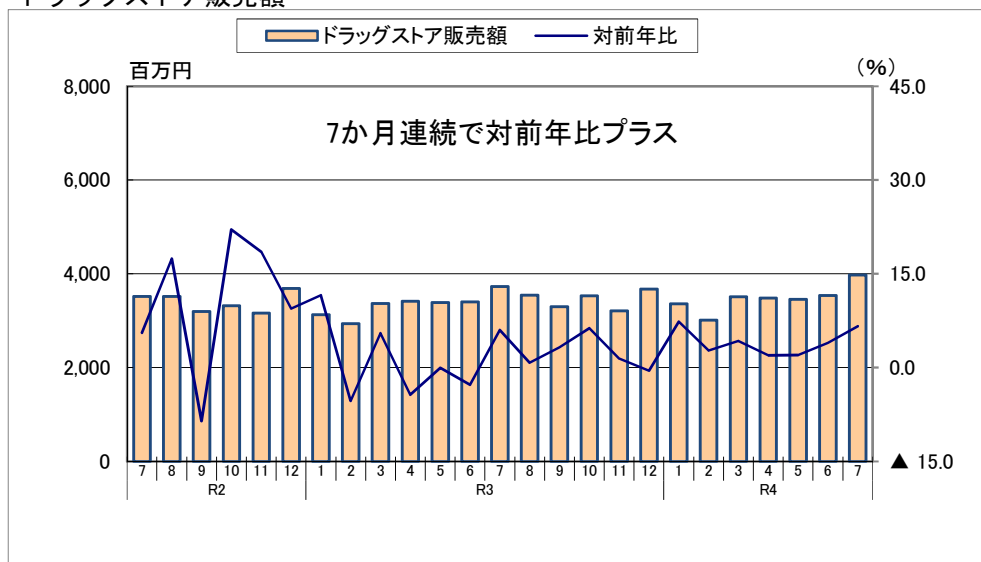
(中国経済産業局)

百貨店・スーパー販売額



(中国経済産業局)

ドラッグストア販売額

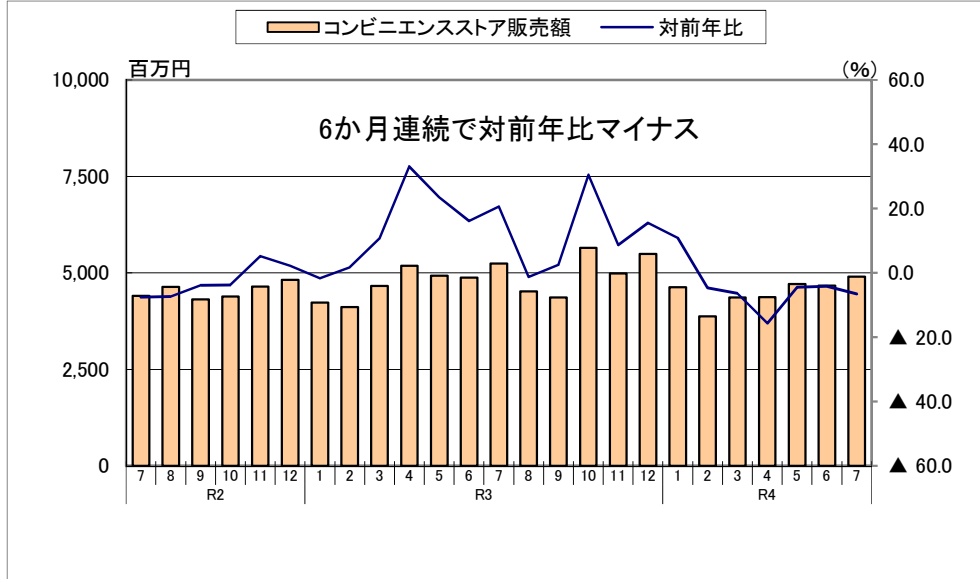


(中国経済産業局)

【 個人消費 】

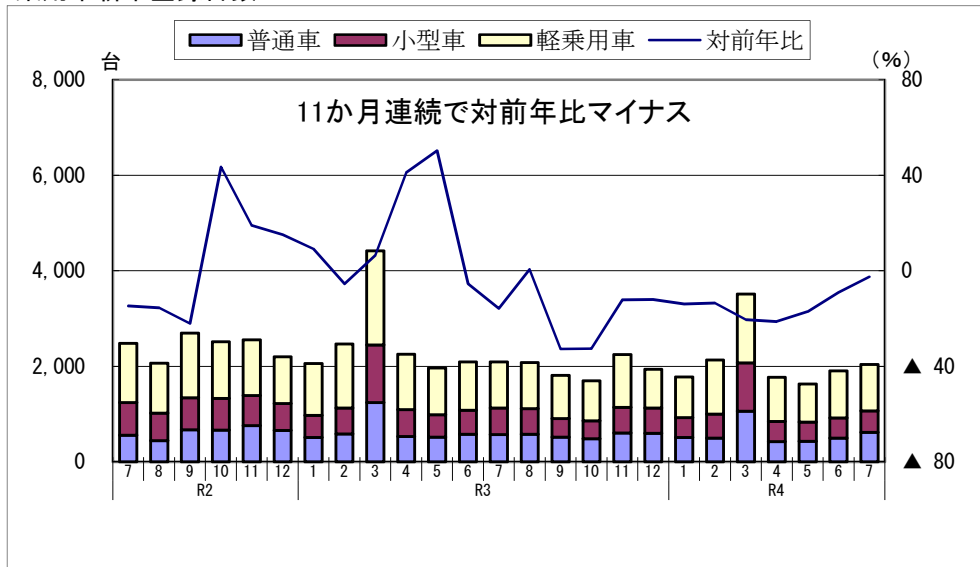
～一部に弱い動きながら持ち直しの動き～

コンビニエンスストア販売額



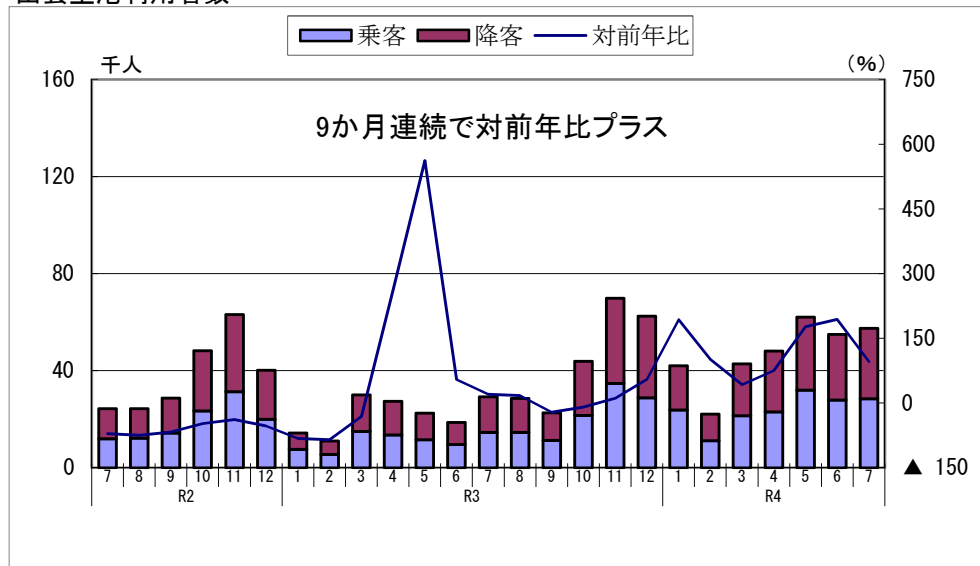
(中国経済産業局)

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

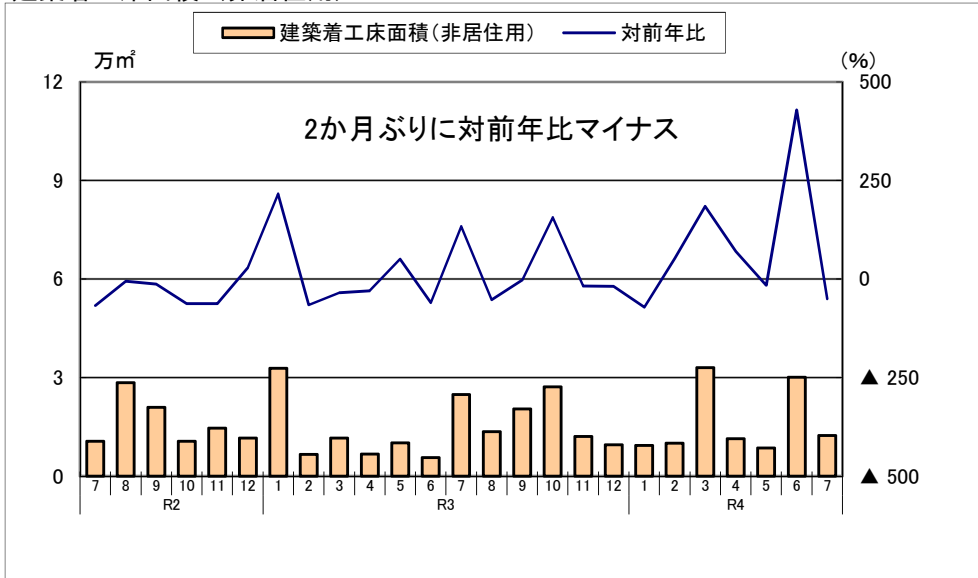
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

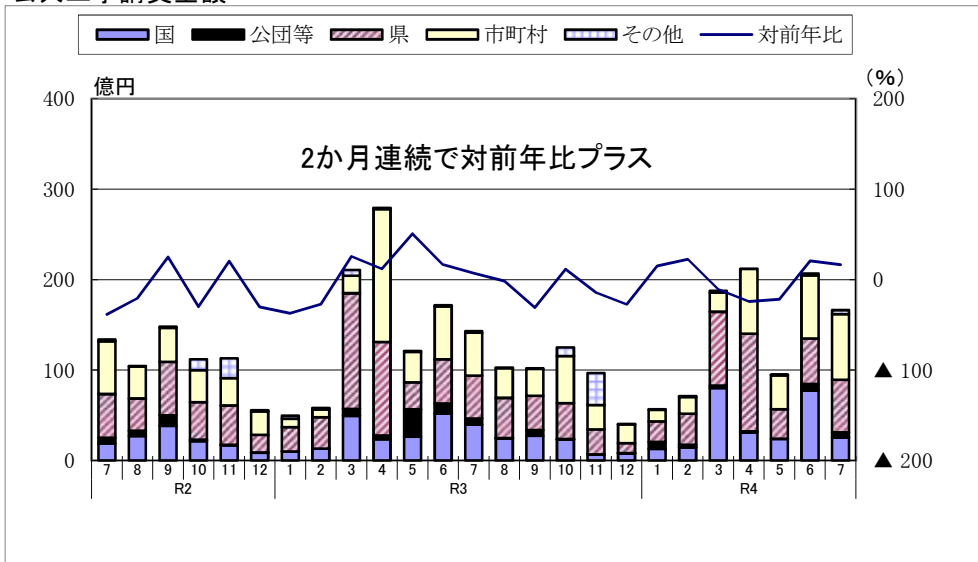
【 投資動向 】 ～持ち直しの動き～

建築着工床面積（非居住用）



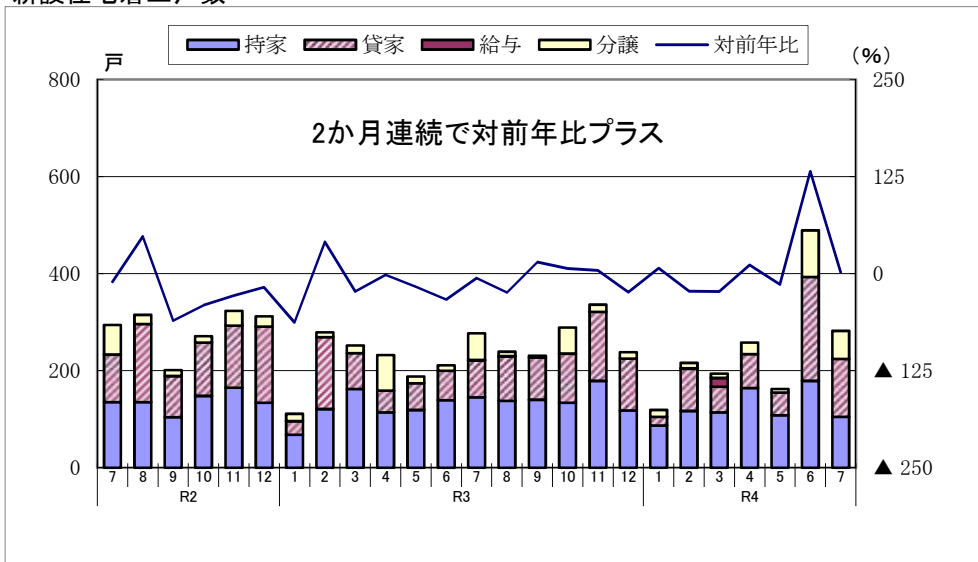
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証㈱)

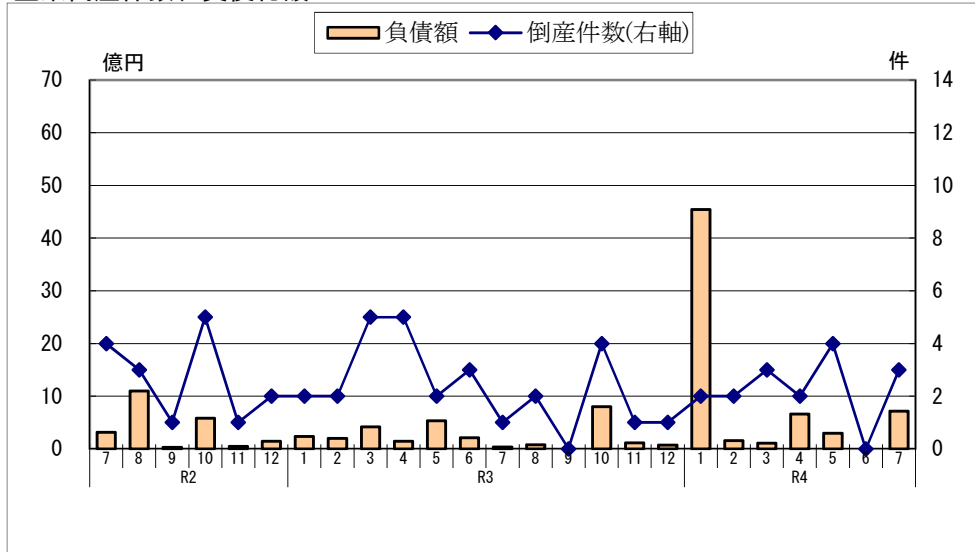
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数 3 件～

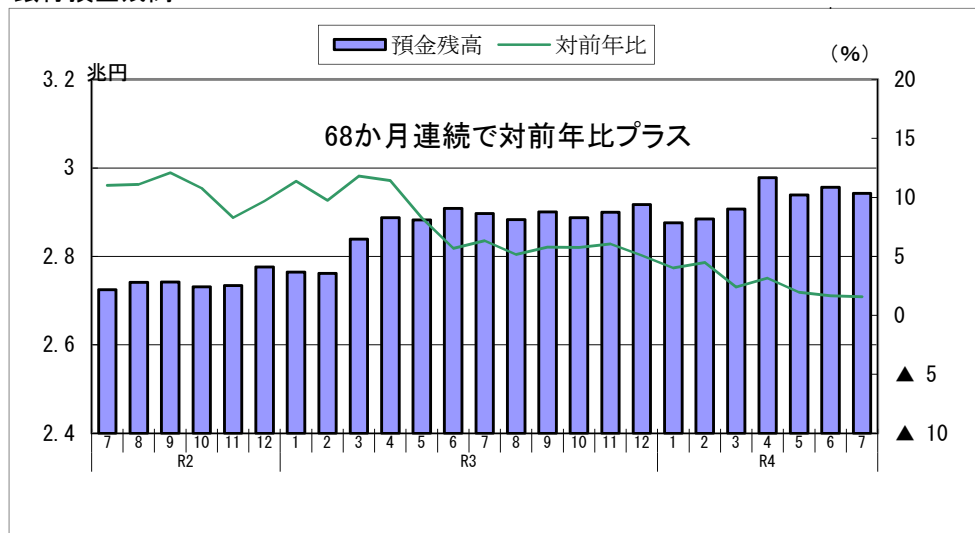
企業倒産件数、負債総額



(株)東京商工リサーチ

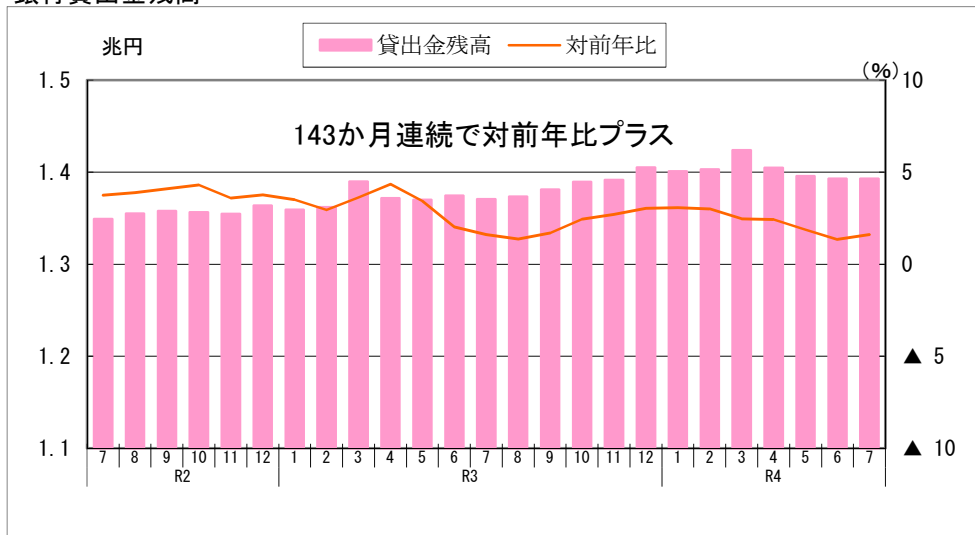
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年1.6%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

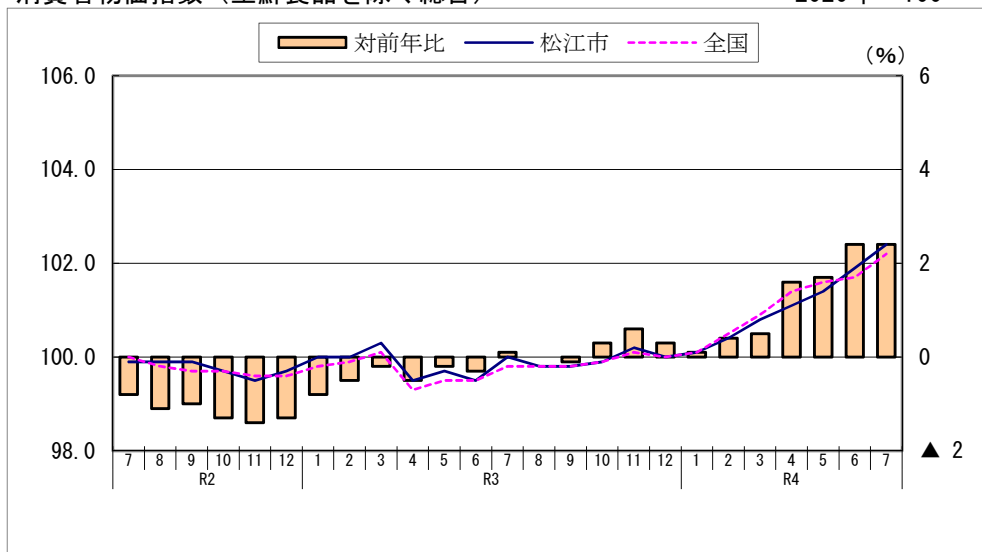
銀行貸出金残高



(日本銀行)

【物 価】 ～対前年2.4%上昇～

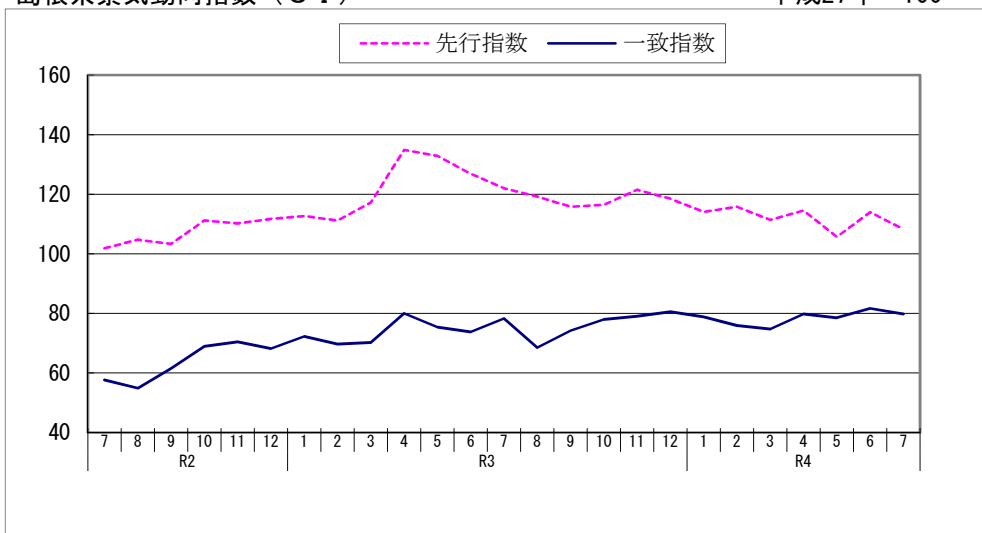
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） 2020年＝100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数（C I） 平成27年＝100



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果（令和4年9月13日 財務省松江財務事務所）
令和4年7～9月期調査

景況判断BSI

(BSI：前期比判断「上昇」－「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	4年4～6月 前回調査	4年7～9月 今回調査	4年10～12月 見 通 し	5年1～3月 見 通 し
全 産 業	▲ 7.5	(4.7) ▲ 10.4	(6.6) 7.5	▲ 10.4
製 造 業	▲ 21.1	(10.5) 5.3	(13.2) 15.8	▲ 10.5
非製造業	0.0	(1.5) ▲ 19.1	(2.9) 2.9	▲ 10.3
大 企 業	0.0	(0.0) ▲ 28.6	(14.3) 0.0	0.0
中堅企業	▲ 11.8	(8.8) ▲ 2.9	(11.8) 2.9	▲ 2.9
中小企業	▲ 6.2	(3.1) ▲ 12.3	(3.1) 10.8	▲ 15.4

※ () 書きは、前回(4年4～6月期)調査時の見通し